

## 新年のごあいさつ



社団法人 電波産業会  
会長 金杉明信

明けましておめでとうございます。

年頭にあたり、一言ごあいさつを申し上げます。

会員の皆様には、平素から当会の事業に対しまして格段のご支援、ご協力を賜わり厚くお礼申し上げます。

お蔭さまで昨年も当会の主要な業務である通信・放送分野における電波利用システムに関する調査・研究・開発業務、照会相談業務等の普及啓蒙事業、標準規格の策定業務、周波数変更対策業務、特定周波数終了対策業務等のいずれも順調に推進することができました。これもひとえに総務省をはじめ関係団体及び会員の皆様方のご支援、ご協力の賜物であり、改めて深く感謝する次第でございます。

さて、昨年の当会を取りまく環境を顧みますと、通信関係においては、第3世代移動通信システムの加入者が既に4,000万を超え、第2世代から第3世代への移行も着実に前進しております。また、無線LAN・無線アクセスの普及も進展しております。放送関係においては、地上テレビジョン放送のデジタル化を円滑に推進するための周波数変更対策業務も、関係機関のご協力を得て順調に遂行することができ、2003年末に東京、大阪、名古屋の三大広域圏で放送を開始して以来、デジタル放送を行う事業者、放送エリアとも着実に拡大しており、本年末には全都道府県の主要地域で放送が開始される予定です。また、本年春には、新たな放送分野を切り開くワンセグ放送サービスが実用化される予定です。

電波利用システムに対するニーズは、携帯電話に加えて第4世代移動通信システム、無線アクセスシステム、ITS、次世代情報家電等ますます高度化、多様化してきており、今後、ワイヤレスブロードバンド環境の整備が飛躍的に進展するものと予想されます。

こうした社会の要請にこたえるため、新しい電波利用システムを迅速に研究開発し標準化すること、これに伴う電波の環境の諸課題を調査研究し周知していくことは、ますます重要となっています。

このような状況を踏まえ、総務大臣指定の「電波有効利用促進センター」、  
「指定周波数変更対策機関」及び「登録周波数終了対策機関」として、本年も  
当会に課せられた事業を積極的に展開して参りたいと存じますので、会員の皆  
様方の一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、会員の皆様方のますますのご発展とご多幸を祈念いたし  
まして、新年のごあいさつといたします。

ARIBから  
のお知らせ

### 第54回電波利用懇話会の開催について

総務省では、我が国のユビキタスネット社会の鍵となるワイヤレスブロードバ  
ンド環境の実現に向け、その利用形態及び普及推進における課題等を明らかに  
し、ワイヤレスブロードバンドのための周波数再配分を具体化していくため、  
平成16年11月から「ワイヤレスブロードバンド推進研究会」を開催し、検討を  
行ってまいりました。

このたび、昨年12月に最終報告書が取りまとめられましたが、この最終報告書  
においては、平成17年4月の具体的なシステムの提案公募により得られ  
た44者77件のシステム提案に基づく利用シーンごとの導入シナリオ、周波数帯  
等、また、新たなシステムの導入を円滑に進めるための周波数の有効利用方策  
に関する基本的な考え方及び今後のワイヤレスブロードバンド環境実現に向け  
た取組について検討が行われ、取りまとめられております。

当会では、今後の電波利用の発展に大きく係わる本件について、総務省から講  
師をお招きして説明していただくこととし、下記により第54回電波利用懇話会  
を開催することといたしました。

会員の皆様には、ぜひご参加くださいますようお願い申し上げます。

### 記

- 1 日時： 平成18年1月26日(木)午後3時から5時まで
- 2 場所： 東海大学校友会館 阿蘇の間（霞が関ビル33階）  
東京都千代田区霞が関3-2-5  
TEL:03-3581-0121
- 3 題名： 「ワイヤレスブロードバンドの推進に向けて」
- 4 講師： 総務省 総合通信基盤局電波部電波政策課  
周波数調整官 小泉 純子 様
- 5 参加者： 150名程度（定員になり次第締め切らせていただきます）
- 6 申込先： 当会ホームページのセミナー講演会等の申込受付まで  
(<https://www.arib.or.jp/cgi-bin/semi/usr/general.cgi>)
- 7 参加費： 無料





電波高度利用シンポジウム2005の会場の様子と  
古屋範子総務大臣政務官



Dr. Harold  
Furchtgott-Roth



湧口清隆様



Dr. Seok Ji Park



森山光彦様

電気通信／放送行  
政の動き

地上デジタルテレビジョン放送中継局ロードマップの公表

視聴者から各放送事業者における地上デジタルテレビジョン放送の具体的な放送開始時期に関する要望が多数寄せられているため、総務省では、12月1日、全国地上デジタル放送推進協議会及び各地域地上デジタル放送推進協議会の協力のもと、放送対象地域及び放送事業者ごとの中継局リスト(中継局名及び開局時期)及び各地域において最も先行する放送事業者の放送エリアの概要として「地上デジタルテレビ放送のエリアのめやす」を公表することとしました。本中継局ロードマップ中の開局時期については、先行して設置される中継局から発射される電波の状況、各地域の実情を勘案しつつ、「アナログ放送時のエリアの100%カバー実現」に向け更に検討が進められており、今後、2006年、2008年、2010年に更に完成度を高めて改訂版を公表することとしています。

なお、以下の参考資料は、「地上デジタル推進全国会議」ホームページ上に掲載されています。

「地上デジタル推進全国会議」ホームページ：  
<<http://www.digital-zenkoku.jp/>>

【参考資料】

・デジタル放送推進のための行動計画(第6次)：  
<<http://www.digital-zenkoku.jp/plan/index.html>>

・中継局リスト：  
<<http://www.digital-zenkoku.jp/list/index.html>>

## 編集後記

新年あけましておめでとうございます。

本号No.524は平成18年の最初のARIBニュースになります。本年も電波産業会企画国際部のスタッフ7名が交代で編集子を務めますので、皆様のご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

さて、7名であることには変わりありませんが、編集子SUM氏がARIBを卒業し、後任にSSK氏を迎えたため、去る12月20日に歓送迎会が催されました。SSK氏はSUM氏とはだいぶタイプが異なるように見受けられましたが、「ARIBニュースの編集後記を必ず執筆すること」はしっかりと引き継ぎされたようです。

3年以上一度も休まずに編集後記を書き続けてくれたSUM氏の後任者ですから、編集後記を省略してOBの方々の期待を裏切ることは無いでしょう。



(編集子:PAO)